

家畜人工授精師会西部支部研修会

家畜人工授精師会西部支部の第2回研修会が開催されました！

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成 29 年 2 月 28 日 | 下関農林事務所畜産部(西部家保)

2月20日(月)、下関市豊田町の下関農林事務所大会議室において山口県家畜人工授精師会西部支部の第2回研修会が開催されました。

参加者は15名で、午前中は、当所の職員から「繁殖効率の評価方法と改善」「現地採卵について」と題して講演を行いました。前者では家畜の繁殖において、個体管理と同様に群全体の管理が重要であると説明し、種々の評価方法について例題を交えて、後者は、現地採卵の要領が改正されたこともあり、改正された内容を中心に研修を行いました。

そして、午後からは、牛の凍結精液や凍結胚(受精卵)の入った「液体窒素ボンベ」を用いて、その保管や取扱いの実習を行いました。会員の皆様は積極的に質問をされるなど、研修会は大変盛り上がりしました。

西部家畜保健衛生所では、家畜人工授精師の活動を支援することで、酪農や肉用牛の振興を図っています。



講演



熱心な実習の様子

問合せ先

メール：a171073@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：083-766-1018